令和２年度とっとり弥生の王国
青谷かみじち遺跡土曜講座
開講のお知らせ

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため 10 月からの開講（全 3 回）となりました。例年より定員数を減らしての開催となりますが、何卒ご理解をお願いします。

今回も青谷上寺地遺跡に関連する最新の調査研究成果をお話しします。

とっとり県民カレッジ連携講座

【日時・内容】

	日　時	講座タイトル	講　師
第１回	10 月 24 日 (土) 午後 1 時 30 分～3 時	「弥生のムラ　乙亥正屋敷廻遺跡（おつがせやしきまわりいせき）からみた青谷上寺地遺跡」	講師 岡野　雅則 （青谷上寺地遺跡整備室）
第２回	12 月 19 日 (土) 午後 1 時 30 分～3 時	「青谷をめぐる海の道と陸（おか）の道」	講師 内田　徹 （青谷上寺地遺跡整備室）
第３回	2 月 20 日 (土) 午後 1 時 30 分～3 時	「令和 2 年度 発掘調査（第 19 次調査）の最新速報」	講師 門脇　隆志 （青谷上寺地遺跡整備室）

【定　員】

各回 25 名、参加費無料、事前申込み必要

(先着順とし、定員になり次第締切ります。複数回の申込みも可能です。)

【会　場】

鳥取市青谷町総合支所２階 多目的ホール

【申込方法】

下記まで、**電話・ファクシミリ・電子メール**でお申込みください。お申込みの際には、講座を受講される方全員のお名前・住所・電話番号を明記して（電話の場合はお伝え）ください。

＊講座申込みのための個人情報は、この講座の実施に係る目的以外には使用しません。

【お問合せ先】

鳥取県とっとり弥生の王国推進課青谷上寺地遺跡整備室
〒689-0592　鳥取市青谷町青谷6 6 7 （鳥取市青谷町総合支所２階）
電話 0857(85)5011　　ファクシミリ 0857(85)5012　　電子メール tottori-yayoi@pref.tottori.lg.jp
ホームページ　http://www.pref.tottori.lg.jp/yayoi-suishin/

☆★☆ **新型コロナ感染症対策 ～土曜講座を受講される方へのお願い～** ☆★☆

・マスクの着用、手指の消毒をお願いします。受付にて検温を行います。
・他の受講者と 2m 以上の間隔を保っていただき、密集した状況にならないようご協力ください。
・万が一、受講者の中に感染が確認された方がおられた場合などには、申込時に情報をいただいた電話番号へ連絡する場合があります。
・皆様が安心して講座に参加いただくため、以下に該当する方の参加はできません。
  - マスクの着用、手指の洗浄や消毒にご協力いただけない方
  - フィジカルディスタンスの確保にご協力いただけない方
  - 発熱、咳、鼻水などの諸症状があるなど、体調の悪い方
  - 過去 2 週間以内に、感染が引き続き拡大している国や地域への渡航歴がある方
  - 新型コロナウイルス患者の方
  - 過去に新型コロナウイルスに罹患し、退院後または治療終了後 2 週間が経過していない方
  - 濃厚接触者と判断され、保健所から 2 週間の不要不急の外出を控えるよう要請されている方
  - 保健所から外出を控えたり体調に注意するよう依頼されている方
・万が一、感染者が発生した場合に備えるため、スマートフォンをお持ちの方は「接触確認アプリ（COCOA）」の事前ダウンロードと当日の起動をお願いします。

令和 2 年度 とっとり弥生の王国 青谷かみじち遺跡 土曜講座
講 座 内 容

会場 ： 鳥取市青谷町総合支所 2 階 多目的ホール
時間 ： 午後 1 時 30 分～3 時
定員 ： 各 25 名（必ず事前にお申込みください。先着順とし、定員になり次第締め切ります。）

10/24（土）

講演 ： 弥生のムラ 乙亥正屋敷廻遺跡からみた青谷上寺地遺跡

とっとり弥生の王国推進課 青谷上寺地遺跡整備室 岡野 雅則

木製の“花弁高杯”↓

鳥取西道路建設に伴い発掘された鹿野町の乙亥正屋敷廻遺跡は、弥生時代の終わりころ（約1，800～1，700年前）に栄えたムラの跡です。狭い谷を有効に利用した居住域と、谷奥の湧水地点から流れ出る水を巧みに利用した護岸を伴う導水路、花弁高杯を含む多数の木器や建築部材といった出土品が特徴的な遺跡です。

今回の講座では、青谷上寺地遺跡の遺構や出土品と比較する中で、西因幡地域の弥生社会を考えます。

12/19（土）

講演 ： 青谷をめぐる海の道と陸の道

とっとり弥生の王国推進課 青谷上寺地遺跡整備室 内田 徹

約1，800年以前の弥生時代に、交易の一大拠点であった青谷の地。弥生時代から遥か千数百年を経てもなお、鳥取藩の藩倉が置かれ、北前船の寄港地となるなど、人やモノが行き交う要衝であり続けました。今回は弥生時代からはるか後の青谷に焦点を当て、現代に至るまでのまちや道の遷り変わりについてお話します。

一昔前に思いを馳せ、このまちを見つめなおしてみませんか。

青谷町内の“伯耆往来”→

2/20（土）

令和 2 年度発掘調査成果 ： 第 19 次調査の最新速報

とっとり弥生の王国推進課 青谷上寺地遺跡整備室 門脇 隆志

これまで様子がほとんど分からなかった遺跡中心部の北側では、古墳時代はじめころ（約1800年前）に大規模な土木工事が行われていたことが分かってきました。

今回の講座では、最新の発掘調査成果を紹介しながら、古青谷湾にほど近い場所での土木工事の意味を探ります。

←“中心域”北側で見つかった盛土造成

とっとり県民カレッジ連携講座